

第6回倶知安町総合計画審議会 顛末

日時：平成30年4月19日（木）15時00分～

場所：倶知安町役場 3階会議室

事務局	1 開会
事務局	それではご案内の時間になりましたので、ただいまより、第6回の倶知安町総合計画審議会を開催いたします。本日総合政策課長が急な出張が入りまして、不在となっております。ご了承ください。 きょうの審議会は前回まで審議していただいた、第5次の総合計画の検証案についての答申内容について協議していただくことになります。それでは、進行を本田会長にお渡ししますので、よろしくお願いいたします。
会長	皆さん、こんにちは。今説明ありましたとおり、本日が答申の日となっております。後ほど事務局より説明がありますが、これまで5回にわたり、皆様にご意見をいただけてきました。すべてを文章にすることは難しいですが、意見の多かったものを掲載しています。本日は、答申案についてご意見をいただき、まとめ次第、町長へ答申となりますので、よろしくお願いします。それでは事務局より説明します。
事務局	2 議事 ○第5次倶知安町総合計画の検証案について（答申案）について それではお手元の3枚目の資料にあります、「第5次倶知安町総合計画の検証案について答申」、皆様のお手元にあります資料は「案」として配付させていただいております。それでは説明させていただきます。 平成29年12月19日に諮問を受けました当案件について、審議の結果、下記のとおり答申します、ということで、昨年12月から3月まで、審議されてきたことを踏まえまして、答申、付帯意見を次のとおりとしてございます。 答申、第5次倶知安町総合計画の検証案について、おおむね妥当とする。ただし、次のとおり意見を付する。 付帯意見の1番目でございます。「第5次倶知安町総合計画の策定時当初から各基本目標、個別目標に数値目標、KPIが設定されていなかったため、検証を審議に苦慮しました。そのため、第6次総合計画では、策定時から各基本目標、個別目標に数値目標、KPI

	を設定すべきである。」今回の検証案を作成するにあたりまして、定められた指標がない中での評価となりまして、町独自の評価を行ったところでございます。第6次総合計画の策定にあたりましては、この点も踏まえまして、指標、数値目標を設定すべきという意見がこれまでの会議におきまして、数多く発言いただいておりますので、記載してございます。 付帯意見の2番目でございます。「日常業務と政策的業務のすみ分け基本目標や個別目標を達成するための重点施策の明記など、総合計画にメリハリを設けるべきである。また、ルーティーン的日常業務については、実施計画に掲載しないことを検討していただきたい。」ということで、先ほどの数値目標の設定と同様、これまでの会議におきまして多くのご意見いただいたことから、記載してございます。 三つ目の付帯意見でございます。「基本目標3やる気いっぱいのもち、個別目標3、国際観光リゾート地をつくる取り組みの推進、個別事業ニセコエリア受け入れ体制整備事業 について観光中核施設の建設を中止したことから、評価について、再度検討求める。」以上の3点を付帯意見とした案を作成してございますので、ご審議についてよろしく願いいたします。以上でございます。
会長	事務局から答申案の内容について説明ありました。ご意見、ご質問等がありますか。いろんな意見が出た中でこの3つに絞ったというところがありますけれども何かありますか。遠慮なくどうぞお願いいたします。
委員	確認ですが、第6次の総合計画は、平成32年（2019年）から2030年までの期間ということでしょうか。
事務局	第6次総合計画におきましては、平成32年度から始まりまして、今後説明する予定でございますが、第6次総合計画策定方針を先般作成しておりまして、これについては今後この審議会でも提示していくことになろうかと思いますが、今のところ12年間を第6次総合計画の期間としています。
会長	今年の秋から来年にかけて、第6次を策定し、計画の開始は平成32年度というスケジュールになります。
委員	第5次のように、前期と後期に分けて、3・4年ぐらいのローリングでやっていきながら、検証の機会を設けていくこととなるのでしょうか。

事務局	基本計画につきましては、前期・後期に分けることで考えております。前回の審議会で、検証の機会、評価委員会などのご意見をいただいております。そちらについては、まだ具体的にどうというのはありませんが、今後の審議等を踏まえ検討していきたいと考えております。
会長	第6次の計画では、3年に1回の評価が必要と思われます。まちの情勢が速いこともあり、修正を逐次かける必要もあります。策定段階でどのようなチェック体制をとることを考えていかなければと思います。
委員	12年後の数値目標ってというのは、非常に難しい数字という感じを受けますね。
会長	まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、人口ビジョンを作成しています。この人口ビジョンを達成するために、どうしていくかということで、3年スパンの中で修正していく必要もあると思います。
副会長	評価基準について、AからDというのがわかりにくく、この評価基準の見直しもするということで理解してよろしいでしょうか。
事務局	第5次の総合計画におきましては、評価基準のない中での評価、町独自の評価を行ったところです。その中で、初の試みということもございまして、今後、第6次におきましては、これまでの審議会においても、AからDではなく、AからEとして、Eは何もやってないゼロという意見もありましたので、そのような意見も踏まえながら、数値目標も、どこまで数値目標にするという意見もございました。これらについては、今後の策定の中で協議、審議していただきたいと考えております。以上でございます。
会長	答申の付帯意見にさらに付帯するものとなりますが、これまで5回にわたって、ご意見をいただいていた内容を、ぜひ各担当課にフィードバックしてほしいと思います。顛末を担当にもわかってほしいところです。この3つの付帯意見だけではわからないこともありますので、よろしくお願いします。
事務局	これまでの審議内容の庁内でのフィードバック、情報共有については、職員へ周知することも可能ですし、また、今日の最後にお伝えする予定ですが、前回、本田会長から、次回以降どのように進めて

	いくつかについて、町の各担当の部署と言いますか、例えば農業ですとか、観光、福祉などの現状や、取り組みについて、総合計画を策定するにあたって、勉強会が必要ではないかということをご提案いただいております。事務局としましては、こういう審議があったということで、フィードバックすることを我々も考えていましたが、こういったご意見もいただいておりますので、その点についてはですね、全職員に分野問わず、審議内容についてお知らせすることは可能でありますので、取り入れていきたいというふうに考えてございます。 以上でございます。
会長	総合政策課で保存ということではなく、各担当に周知、情報共有していただきたい。
委員	軽微なことですが、文章直してほしいと思います。付帯意見の3番目に、取り組みっていう場合は、名詞ですので、送り仮名は必要ありません。それからニセコエリアを受け入れ、これも名詞ですので、送り仮名は必要ありません。併せて、取り組みの推進と個別事業の間に、及びが必要となります。
事務局	第5次総合計画の中の表現であることというのがまず1点です。見やすさといいますか、わかりやすさを入れるのであれば、例えば基本目標3「やる気いっぱいのもち」、スペースを入れて、個別目標3というような形で、その区切りを入れることで、見やすくなるのかなと思われます。
副会長	付帯意見の3にある「再度検討を求める」という表現はこれでよいでしょうか。どこが再度検討するのか。
事務局	これまで、ご意見いただいた中での、再度検討ということでございます。評価については、事務局として、担当課にまずフィードバックといいますか、戻して再度検討してもらい再評価していただくということで進めていきたいというところをもってですね、審議会から検討してくださいというような要請ということでご理解いただければと思います。
会長	ご意見がなければ、これで進めていきますが、審議内容を各担当課にフィードバックしていただくという条件も含めて、これを答申として進めます。

事務局	それでは事務局で、答申の準備をしますので、今しばしお待ちいただければと思います。 <答申の準備>
事務局	皆様のほうに配布しました答申書は、本日ご意見いただいた中で、3番目の付帯意見の中で、基本目標・個別目標そして個別事業の間に、スペースを入れさせていただいて区切りをわかりやすくしたというところが変更点でございます。それ以外については、当初配布しました答申案から変更してございません。こちらで最終稿をさせていただきたいと考えております。
委員	他委員からのご意見が含まれていないと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	もともとの計画の中の表現となっていますので、本来であれば委員のご意見となりますが、その点ご了解願います。 <答申案について了承>
事務局	準備できましたので、これより、本田会長から町長に答申をいたします。 3 第5次俱知安町総合計画の検証案についての答申 <本田会長から町長へ答申>
事務局	本田会長ありがとうございました。それでは町長から委員の皆さんに一言ご挨拶申し上げます。
町長	昨年12月に、第5次総合計画の検証案について諮問し、4カ月間、5回にわたり、大変丁寧な審議をいただき感謝申し上げます。第5次総合計画は、来年度までありますので、事業としてやらなければならないものもあることから、2019年度まではしっかりと取り組んでいきたいと思っております。また、今回の付帯意見については、第6次の策定もはじまりますので、これらの意見も踏まえたなかで進めていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。
会長	町長に対し、答申と付帯意見を報告しましたが、これまでの審議内容を各担当課にフィードバックしていただきたいことと、第6次策定前に、各担当課との勉強会をお願いしたいと思っております。その他、

	皆さんからご意見はありませんか。
会長	今後のスケジュールについては、私と2名の副会長、事務局とで内容等調整して行きたいと思います。
事務局	今後につきましては、前回の審議会で本田会長から、各課の取り組み状況などについてレクチャーを受けたほうがいいのではないか、というご意見がございましたので、定期的にご参集いただきまして、各課からのヒアリングなどを行いたいと考えておりますが、詳細につきましては、後日また連絡させていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。
会長	第6回まで審議いただきありがとうございます。これから、本格的な策定が始まりますが、皆さんのお力添えをいただき、進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
事務局	それではこれで本日の会議を終了いたします。本日はありがとうございました。